

令和4年度地域医療介護総合確保基金（医療）における東部圏域提案事業（案）

令和4年1月19日
鳥取県立中央病院
鳥取市保健所

【事業対象となる保健医療圏】

東部保健医療圏

【事業の分類】

③医療従事者の確保に関する事業

【事業の実施主体】

鳥取県立中央病院

【背景にある医療ニーズ】

○現状

- ・東部圏域は令和3年1月の「医師数に関する調査」によると、病院の医師の充足率は外科系全体では県全体84.4%に対して東部圏域70.0%と低く、呼吸器外科（県84.8%、東部57.1%）、心臓血管外科（県86.5%、東部71.4%）は特に低い状況となっている。
- ・また、鳥取県医師確保計画における「診療科別の人口10万人対医療施設従事医師数」においては、医師総数では全国240.1人、県298.1人に対して東部226.9人と全国でも低く、内科のうち、消化器内科（全国11.2人、県11.6人、東部4.8人）、循環器内科（全国9.8人、県10.2人、東部6.9人）は特に医師数が少ない状況となっている。
- ・さらに、消化器内科では近年、高精度の内視鏡技術が求められており、内視鏡検査の主な担い手医師の負担は大きくなっている。

○課題・ニーズ

- ・不足する医師確保と医療技術の向上のため、臨床研修医の呼び込みや若手医師のスキルアップは必要であるが、臨床件数が少なくトレーニングの機会も限られることから、これらの取組の課題となっている。
- ・しかし、近年、人体に限りなく近くトレーニング効果の高い機器（シミュレーター）が開発され、これらの機器の活用によって臨床件数の不足が補われることから、機器整備に対する臨床研修医や若手医療従事者からの要望は強い。
- ・東部圏域の1つの医療施設において集中的にトレーニング機器を導入し、東部の医療従事者が自由に訓練できるシミュレーションセンターとして訓練環境を整備することは、経費的にも効率的な取組であり、また、東部の医療人材の充実を図るうえでも重要である。
- ・8月に開催された4病院長（当院、市立、日赤、生協）会議において、全病院共通の要望として挙げた事業であり、是非とも整備を実現させたい。

【要望事業の内容】

事業名：東部保健医療圏の医療従事者のためのシミュレーションセンター整備

事業内容：鳥取県立中央病院に設置したシミュレーションセンターに、種々の医療技術向上に資するトレーニング機器（シミュレーター）を備え、東部医療圏の医療従事者（医師、看護師、臨床検査技師等）等が自由に訓練できる環境を整備する。
設置機器は、超音波トレーニングモデル（超音波機器、超音波内視鏡、腹部、心臓）、中心静脈穿刺挿入等トレーニングモデル（カテーテル挿入、末梢挿入）、消化器内視鏡トレーニングモデル（胃・大腸カメラ）、内視鏡手術トレーニングモデル、看護師育成のためのトレーニングモデル（採血、点滴）等

【トレーニング機器の活用計画】

管理運営： 鳥取県立中央病院・シミュレーションセンター長（本邦及び米国の救急医療・災害医療の国際指導資格あり）が行い、各機器の減価償却費及び消耗品等に相当する利用料を設定し、それら機器ごとの予約及び貸出しの管理並びに請求業務を行う。

具体的取組： 整備した各種医学トレーニングモデルを用い、同上センター長、各科指導医、指導看護師が心肺蘇生研修、日常診療に役立つ救急医療研修、心・腹部エコー手技を中心とした心臓・腹部診療研修、消化器内視鏡治療研修、内視鏡手術研修、特定看護師研修、一般的看護措置などの研修を提供する。

【アウトプット指標】

- ① 中央病院の初期・後期研修医、看護師、臨床検査技師などメディカルスタッフのトレーニング機会が増加
- ② 中央病院以外の東部医療機関の同上メディカルスタッフのトレーニング機会が増加
- ③ 胃・大腸カメラ及び内視鏡手術の術者や助手のトレーニング機会の増加による患者負担の軽減、ならびに検査治療に伴う医療事故の減少
- ④ 東部圏域の医療従事者などを対象としたシミュレーターを活用した教育研修の実施

【評価指標】

- ① 中央病院の初期・後期研修医がシミュレーターによるトレーニングを1回以上実施（目標：80%以上）
- ② 中央病院以外の東部医療機関の初期・後期研修医がシミュレーターによるトレーニングを1回以上実施（目標30%以上）
- ③ 実際の施術前の胃・大腸カメラ及び内視鏡手術の術者や助手のトレーニングの実施（目標：〈中央病院においては義務化〉100%）
- ④ 医療従事者などを対象としたシミュレーターを活用した教育研修の実施（目標：2回以上／年間）

【事業費】

44,720,000 円（税込み 49,192,000 円）

【所要額の積算根拠】

心臓・腹部超音波検査トレーニングシミュレータ	14,000,000 円
汎用超音波画像診断装置	4,800,000 円
汎用超音波画像診断装置プローブ	980,000 円
CVC穿刺挿入シミュレータⅡ	260,000 円
CVCカテーテル挿入パッド2個組	53,000 円
末梢挿入中心静脈カテーテルPICCシミュレーション	162,000 円
DAMシミュレータトレーニングモデル	265,000 円
消化器内視鏡手技トレーニング用シミュレータ	14,400,000 円
消化器内科手技シミュレータ（ERCP、EUS、EMR/ESD モジュール）	9,600,000 円
点滴静注シミュレータVライン	120,000 円
装着式上腕筋肉注射シミュレータ	80,000 円

※ 下線部分が今回修正箇所